

★時

2010年4月17日(土)~18日(日)

★場所

群馬県/白毛門~笠ヶ岳

★ルート

17日

大谷P→土合→白毛門山頂下の稜線(泊)

18日

白毛門→笠ヶ岳→白毛門→土合→大谷P(解散)

★参加者

やじまさん

リーダー。会長。理論派の人格者(筆者の印象)。

てっしーさん

食糧担当。気は優しくて力持ち(筆者の印象)。

あおきさん

新人1

こじまさん

新人2

筆者

新人3



★1 日目

前日から雪が降り、朝には車に雪が積もっていた。大谷 P に 6 時に集合した時は大雨だった。やじまさんが傘を差さないのびず濡れになっていた。

やじまさんの車で東北～北関東～関越へ。途中、だんだん晴れ間が射ってきて、駒寄 PA でドリップコーヒーを堪能している頃には暑いくらいだった。

140 円で買った車を土合駅に停めて、登山準備。

ここで、あおきさんがアイゼンを持ってきてないことが判明。やじまさんがワカンで登ることになる。笠ヶ岳のクラストした斜面も普通に登っていた。

10 時半ごろ出発。車道をだらだら歩き、川を渡って、取りつきに着く。

雪が豊富なので直登。キックステップでさくさく登る。

13 時くらいからガスってくる。アウターを着込む。14 時半くらいには樹林帯を抜けたが、その頃には景色は全く見えなくなる。

白毛門山頂の向こうでテント張るつもりだったが、山頂手前で時間切れ。雪の降る中、16 時過ぎに行動中止。

稜線の風下側を整地して、5 人用 1 張り、3 人用 1 張り。この場所は風が遮られて快適だった。

テントに入る。靴のまま入るのに驚く。気が付いたらやじまさんが水を作る体勢に入っているのに驚く。

食担の用意した飲み物(ミルクティー)でやわらく。

新人達がやたらと食べ物をもってきていた。しかも酒とか生ものとか。先輩方には世代ギャップだったようだ。

夕食は、米、マーボー春雨、わかめと高野豆腐のシーザーサラダ風、杏仁豆腐。

杏仁豆腐は粉と牛乳を混ぜてテント外に放置しておく、いい具合に冷えていた。やじまさんがコッヘル回し 1 週目で全部食べようとしたので、あやうく暴動寸前になる。

テント内でしばしば足がつる。

20 時くらいに就寝。

噂どおり、てっしーさんは一瞬で就寝。しかもマットなし。



土合駅にて

★2日目

4時起床。

朝食はみそラーメンにわかめと高野豆腐入り。

6時すぎに出発。

笠ヶ岳までの稜線上は風が強い。顔の露出している部分が凍える。

筆者は写真記録係だが、6:12～9:42の3時間半は写真を一枚も撮っていない。撮る余裕がなかった。

笠ヶ岳山頂は一段と強風。記念撮影をして早々に下山。

10時すぎから日が射して、風がおさまってくる。ハイキングの様相を呈してくる。

この時間帯から、ぞくぞくと人が上がってくる。

11時には再び白毛門山頂。谷川連峰が一望できる。

新人は余裕が出てきて、尻セードなどやりつつ下山。雪が溶けたところは、「こんなとこ登った？」という激下り。

14時半くらい土合着。

湯テルメ谷川で温泉に入る。男3人は高校時代の話でしみじみする。

夕食はとんかつ。やじまさんの選んだ店は良い店だった。



谷川連峰をバックに



急斜面の下り

★感想

はじめての雪山テント泊だったが、ホームシックにもかからず、余裕を持って過ごせた。

春合宿(3泊!)に向けた良い準備になった。

先輩方を見ていて、自分の手際の悪さを実感した。個人の遅れが、チームの行動時間を減らすことになってしまう。

春合宿では、次の行動を意識しながら過ごすようにしたい。また、荷物を減らした上に、パッキングを工夫して準備時間短縮を図りたい。